

# 第3章

兵庫の産業・雇用活性化に向けた

今後の基本方向



## I 兵庫経済の目指す姿

### 1 社会構造の変化への的確な対応

本県は、人口減少・偏在化の加速と急激な少子高齢化に直面している。こうした人口構造の変容は、就業者の減少と人手不足や市場の変化・縮小につながり、日本型雇用システムの変化や人生100年時代の到来と相まって、経済社会環境を大きく変える。特に、本県では、未来の担い手となる若者が東京一極集中等により県外に流出しており、深刻な課題となっている。

産業構造の面においても、大きな変化のうねりの中にある。AI・IoT、ビッグデータ等の技術革新による第4次産業革命や職業代替、コモディティ化とスマイルカーブの進捗、電気自動車へのシフトによるものづくりの転換、キャッシュレス等の新たな経済システムの浸透に加えて、団塊世代経営者の引退も今後本格化する。こうした中、これまで本県経済の強みであった製造業の一層の高付加価値化に加え、県GDPの70%を占める第3次産業（広義のサービス業）の生産性向上が不可欠である。

世界構造に目を向ければ、中国の成長による世界経済の多極化、人口が大幅に増加するインド・アフリカの台頭、アジア中間層の拡大、ヒト・モノ・カネ・情報の流動拡大が進んでいる。米国の保護主義化等の動きはあるものの、グローバル化の大きな流れはとどまらず、海外の成長の取り込みは欠かせない。

本県経済の持続的な成長のためには、これらの人口、産業、世界構造の変容に対して的確かつ迅速に対応していくことが必要である。

### 2 兵庫経済の目指す姿

本県が直面している時代の変化と課題を乗り越え、活力にあふれた産業、人材、交流が生まれ成長する「新たな時代を拓くすこやかな兵庫経済」の構築を目指す。

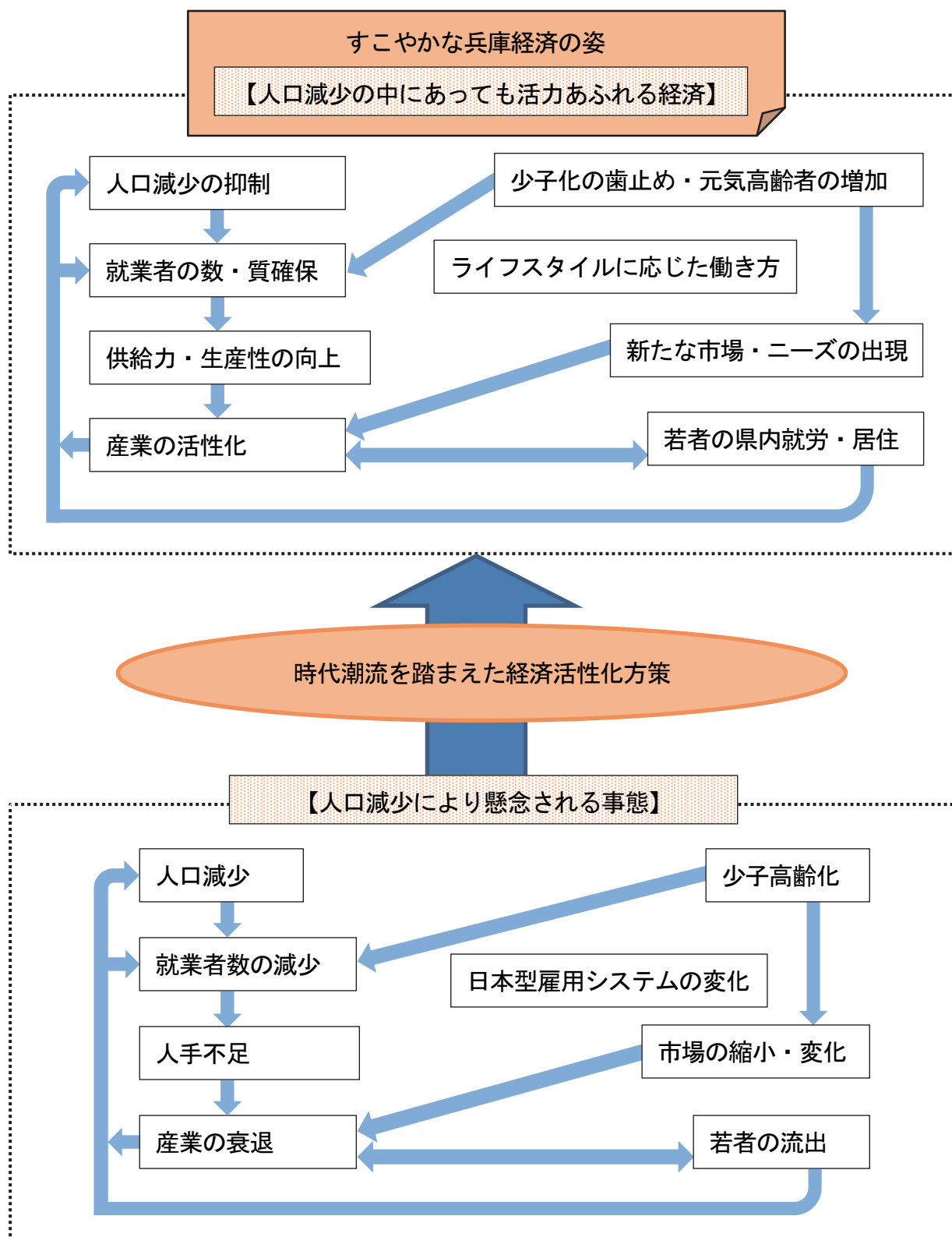
#### 新たな時代を拓くすこやかな兵庫経済

～兵庫の元気の源泉として、人口減少に打ち勝つ駆動力を生み出す～

○ものづくりのみにとどまることなく、これまで培ってきた技術や人の基盤を生かしながら、最先端の成長産業、農林水産業も含めた地域産業、新たなニーズに対応するサービス業など、多彩な産業が役割を果たし発展する。

○県民一人ひとりが、性別、年齢、障害の有無、国籍にかかわらず、生涯にわたって持てる力を高め、しごとに発揮する。

○ビジネスやツーリズムによる、県内・国内外の交流が活力につながる。



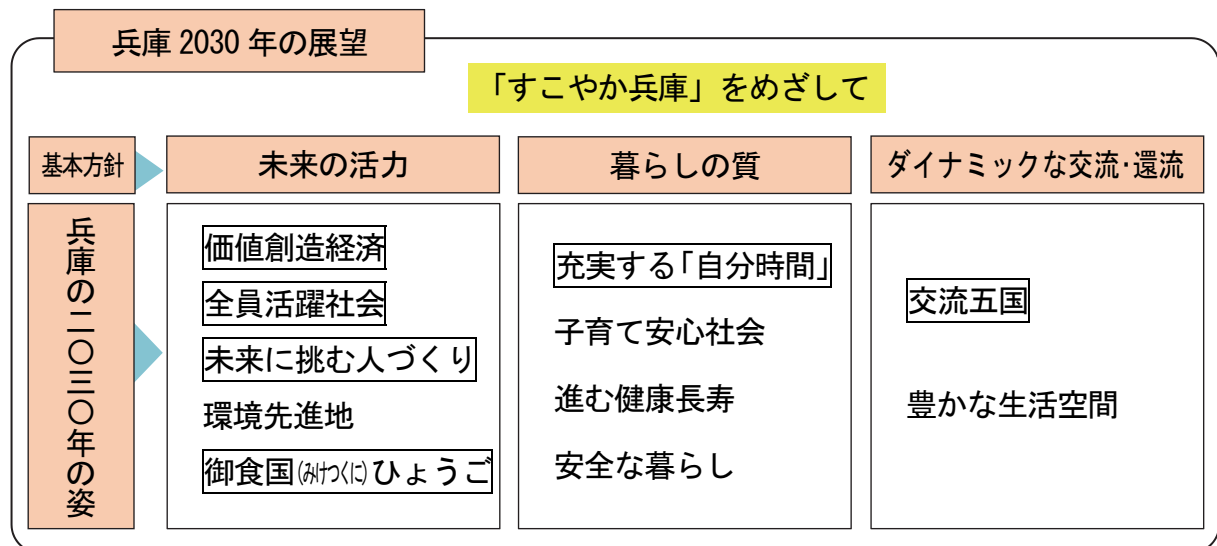
## II 重点戦略分野

### 1 「兵庫 2030 年の展望」との関係

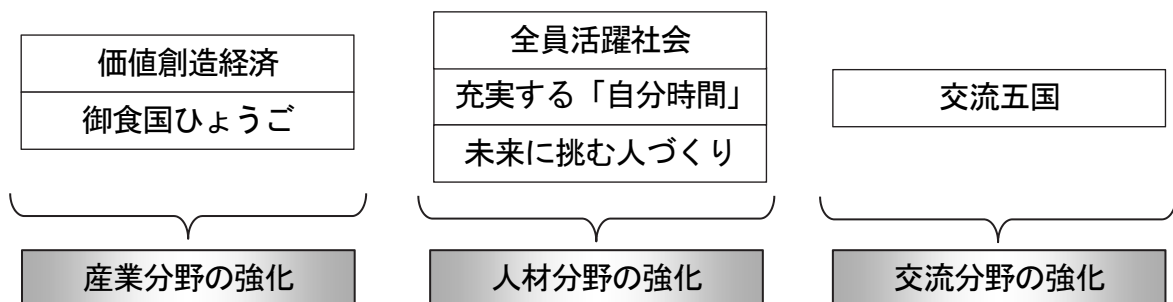
本県では、目標年次を 2040 年とする「21 世紀兵庫長期ビジョン」を策定し、県民の参画と協働を基本姿勢として、ビジョンが目指す将来像の実現に取り組んできた。兵庫を取り巻く環境が大きく変化し、先行きの不透明感が広がる中、この歩みをより確かなものにするべく 2018 年 10 月に取りまとめたのが「兵庫 2030 年の展望」である。

「ひょうご経済・雇用活性化プラン(2019～2023 年度)」は、新たな兵庫づくりの羅針盤である「展望」に掲げられた 2030 年の姿の実現に向け、「展望」の経済・雇用面における具体化を推進するものである。

【「兵庫 2030 年の展望」と「ひょうご経済・雇用活性化プラン」との関係図】



※□囲みがひょうご経済・雇用活性化プランの推進により具体化する姿



## 2 重点戦略分野の概要

「兵庫 2030 年の展望」に基づき、産業・人材・交流における各重点戦略分野を推進し、2030 年の姿の実現につなげる。

### (1) 産業分野

#### 1) 価値創造経済を実現する分野

人工知能等の革新技術は産業構造を大きく転換させ、世界経済のボーダレス化による競争激化は地域経済の変容を迫る。兵庫の飛躍を図るには、こうした環境変化に柔軟に対応し、高い付加価値を生み出す経済を構築する必要がある。

##### ① 航空・宇宙

産業の裾野が広いことを活かした集積の促進と拠点化

##### ② ロボット

産業用から、防災や医療など多種多様な分野への適用拡大

##### ③ 環境・エネルギー

次世代自動車等、クリーンエネルギー移行への対応

##### ④ 健康・医療

世界的な高齢化に伴う需要拡大の取り込み

##### ⑤ 新素材

省エネルギー等に対応する基礎素材の供給

##### ⑥ AI・IoT、ビッグデータ

第4次産業革命による技術革新への対応

##### ⑦ IT産業

産業基盤としての関連企業・人材の集積

##### ⑧ 商業・商店街

生活基盤・地域の拠点としての活性化

##### ⑨ 地場産業

全国トップクラスの産地による新たな市場開拓

#### 2) 御食国ひょうごを実現する分野

ライフスタイルの変化が食へのニーズを多様化させ、世界の食市場は拡大している。多彩な自然環境や都市近郊立地、食品産業の集積等の強みを生かし、国内外に豊かな農林水産物を発信・提供する御食国ひょうごを目指す。

##### ① 食・農林水産業

ブランド力強化、6次産業化や海外輸出の拡大、ICT活用

## (2) 人材分野

### 1) 全員活躍社会を実現する分野

人口減少と高齢化が進む中、社会の担い手を確保し、兵庫経済の活力を維持するには、だれもが能力を発揮できる全員活躍の実現が必要である。

- ① 年齢・性別・障害の有無等に関わりなく働き続けられる環境づくり
- ② 何度でもチャレンジできる環境づくり

### 2) 充実する「自分時間」を実現する分野

県民のくらしの質を高め、豊かな生活を実現するには、自分の大切にしている価値を追求できる「自分時間」の確保が欠かせない。生活の充実に向けた基盤を形成する。

- ① ワーク・ライフ・バランスの推進

### 3) 未来に挑む人づくりを実現する分野

人生100年時代を迎える一方、技術革新が加速している。先行きが不透明な中であって、何度でも学び、知識や能力を高めることにより、未来に挑もうとする人を育成・支援する。

- ① 学び直しの環境整備

## (3) 交流分野

### 1) 交流五国を実現する分野

モノ消費からコト消費へのシフトやアジア中間層の拡大を背景に、世界の海外旅行者数は今後も増加すると見込まれている。県人口減少の加速化に伴う定住人口減が避けられない中、世界との経済や人的交流を推進するとともに、五国の多彩な地域資源を生かしたツーリズムの推進により、交流人口をさらに拡大する。

#### ① 観光

五国の魅力を生かした国内外マーケットの掘り起こし

#### ② スポーツ

ゴールデンスポーツイヤーズを契機とした産業としての振興

#### ③ 文化

地域が有する厚みある文化資源の活用

### 3 重点戦略分野の市場動向等（産業・交流分野）

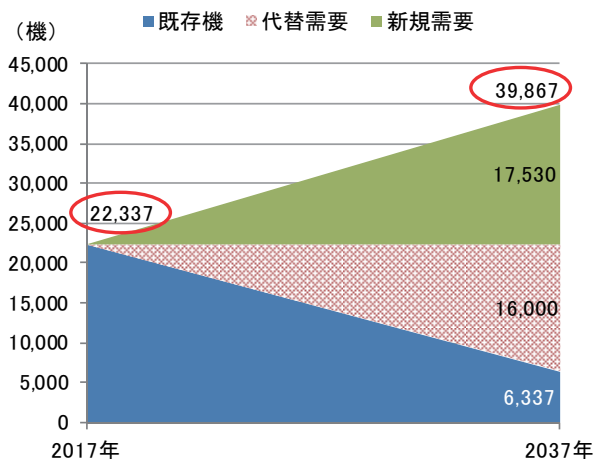
#### （1）価値創造経済を実現する分野

##### 1) 航空・宇宙（原動機、機体部材、装備品、部品・素材、周辺機器等）

###### 市場の動向

- ①世界の航空機（ジェット機）需要は今後20年で約2倍になると見込まれるなど、航空宇宙産業は大きな成長が期待されている。
- ②航空機は自動車部品の100倍となる約300万点の部品で構成されるため産業の裾野が広いと言われており、中堅・中小企業の受注機会の拡大につながると期待できる。

【ジェット旅客機の世界需要予測】

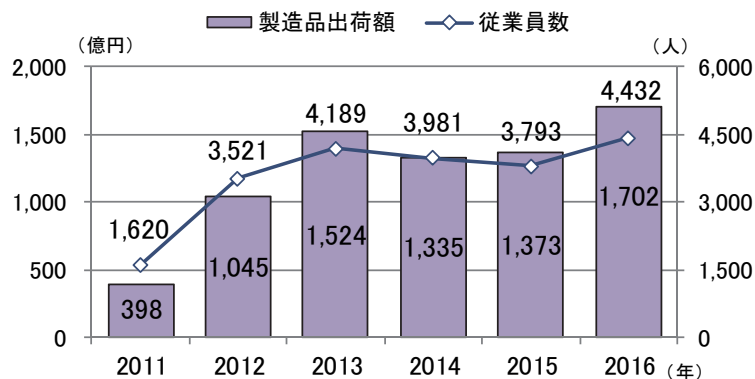


（資料：日本航空機開発協会「民間航空機に関する市場予測（2018.3）」）

###### 県内の強み・現状

- ①県内の航空機関連製造業の製造品出荷額は約1,702億円（2016年）で、近年、増加基調にある。
- ②県内には世界的な航空機エンジン・機体メーカーから中小の部品・素材メーカーまで、関連企業が数多く集積している。
- ③宇宙分野でもH-IIロケットの温度センサーやバネ等で、県内企業の技術が採用されている。

【航空機関連産業の製造品出荷額・従業員数（兵庫県）】



（資料：経済産業省「工業統計」、総務省・経済産業省「経済センサス」）

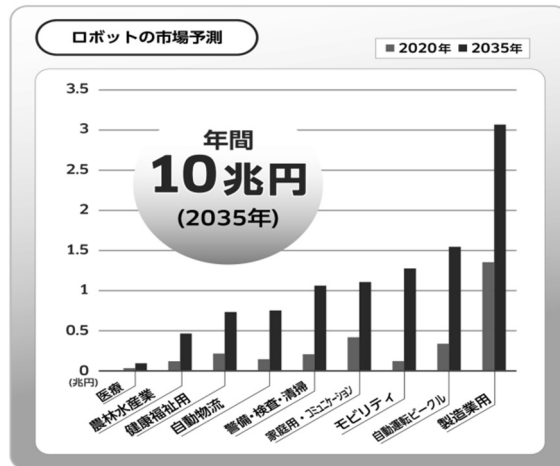


2) ロボット（産業、防災、建設、インフラ、生活支援、医療、福祉・介護等）

市場の動向

- ① ロボット産業は、国内市場が2035年には約10兆円へと拡大すると見込まれている。
- ② 現在も大きな市場を形成している製造業用のロボットはさらに市場が拡大するとともに、他の分野でもロボットの適用が広がると予測されている。

【ロボット産業の国内市場規模予測】

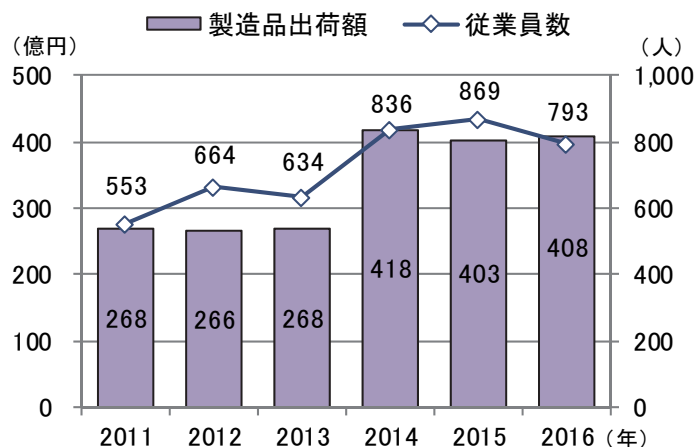


(資料：新エネルギー・産業技術総合開発機構「ロボットの新規市場創出に向けた国内外技術動向及び市場分析に係る情報収集」より新産業創造研究機構作成)

県内の強み・現状

- ① 県内のロボット製造業の製造品出荷額は約408億円(2016年)で、増加基調にある。
- ② 県内ではロボットメーカー大手と医療用検査機器メーカーの共同出資により、医療ロボットの開発・製造を行う新会社が設立(2013年)されるなど、ロボット分野への新規参入・事業拡大の動きが活発化している。

【ロボット製造業の製造品出荷額・従業員数(兵庫県)】



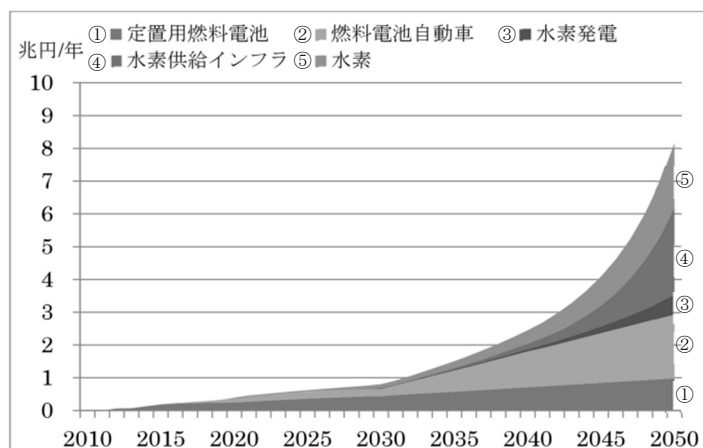
(資料：経済産業省「工業統計」、総務省・経済産業省「経済センサス」)

### 3) 環境・エネルギー（電気自動車、水素、蓄電池、発電、再生可能エネルギー、関連製造業等）

#### 市場の動向

- ①国内の環境・エネルギー産業は、2050年には約140兆円規模に成長する見込みである。特に、地球温暖化対策分野の成長率が高く、その内訳の約4割を太陽光発電や水素分野等のクリーンエネルギー利用が占める。
- ②水素・燃料電池関連の市場規模は2050年に8兆円規模に拡大すると見込まれている。

#### 【水素・燃料電池関連の国内市場規模予測】

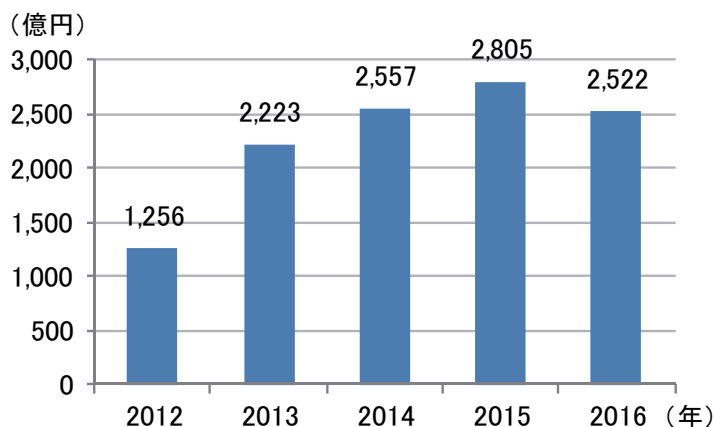


(資料：日本エネルギー経済研究所作成)

#### 県内の強み・現状

- ①県内の環境・エネルギー関連産業の市場規模推計は2,522億円(2016年)で、太陽光発電システムが頭打ちとなる一方、蓄電池や燃料電池は今後拡大が予測される。
- ②水素関連産業では、神戸市内で世界初の水素発電施設の実証実験が開始されるなど、県内での需要拡大が期待されている。

#### 【環境・エネルギー関連産業市場規模(兵庫県)】



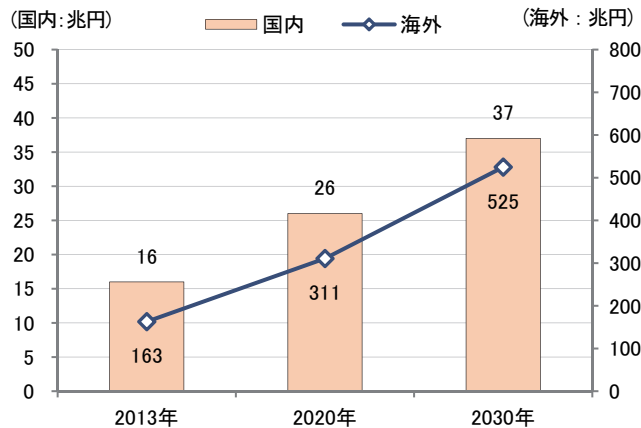
(資料：環境省「環境産業の市場規模・雇用規模等調査(2017)」のクリーンエネルギー利用市場規模から兵庫県のGDPシェアに基づき推計)

4) 健康・医療（医薬品（創薬）、医療機器、再生医療、介護・介護機器、健康・医療データ、疾病・認知症予防等）

市場の動向

- ①医療関連産業は国内市場規模16兆円（2013年）の巨大産業であり、2020年には約26兆円、2030年までに約37兆円へとさらに拡大すると見込まれている。
- ②世界全体の高齢化の進展で、国内のみならず海外での市場規模の拡大が予想されている。

【ヘルスケア産業の市場規模予測】

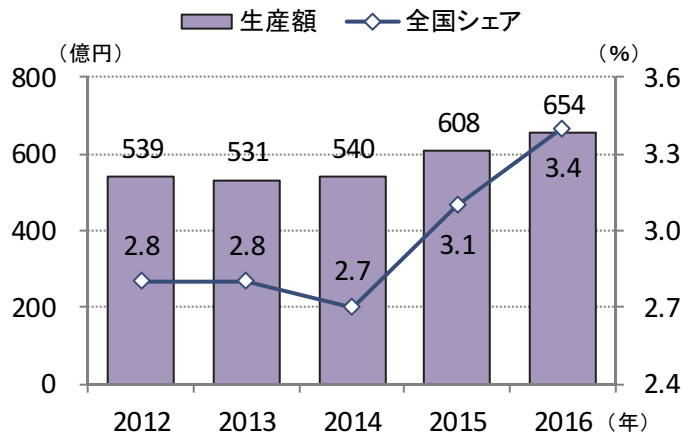


(資料：「日本再興戦略」(2013.6))

県内の強み・現状

- ①県内の医療機器の生産額は、全国第9位の約654億円(2016年)で、増加傾向にある。
- ②神戸医療産業都市には、350社・団体(2018年10月末時点)の創薬・医療関連企業や研究機関等が進出し、国内最大級の医療産業クラスターを形成しており、産学官連携による先端医療の研究・事業化の拠点として期待されている。

【医療機器の生産金額の推移(兵庫県)】



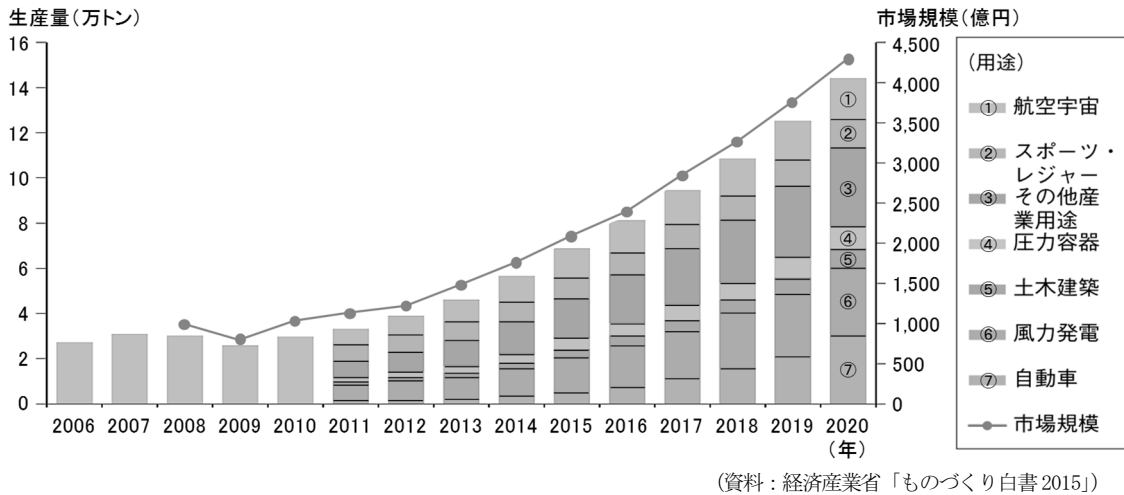
(資料：厚生労働省「薬事工業生産動態統計」)

5) 新素材 (金属素材、金属加工、炭素繊維、複合材料等)

市場の動向

- ①金属素材は、中国・韓国など新興国メーカーが研究開発・生産体制を強化しており、技術力で優位に立ってきた国内メーカーへの追い上げが著しい。
- ②複合材料の中でも特に炭素繊維は、鉄の4分の1と軽く、10倍の強度を持つ性質から、自動車や航空機などの用途で需要が増加している。

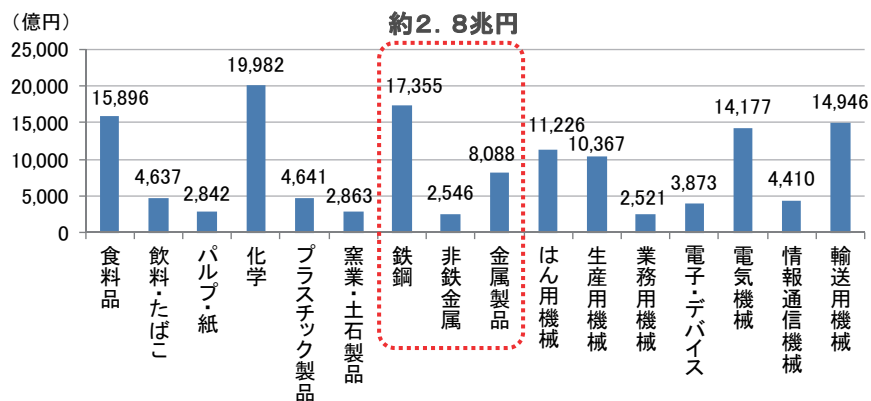
【炭素繊維の需要及び市場規模予測 (世界)】



県内の強み・現状

- ①県内最大の産業である金属素材製造・加工企業が、ひょうごメタルベルト (播磨～神戸) に集積 (県内関連企業約1,700社、2016年産業出荷額約2.8兆円)。
- ②ひょうごメタルベルトを中核に、航空宇宙・エネルギー・先端医療等の次世代産業の生産拡大を図るため、県立工業技術センターのサテライトとして、2019年度に県立大学姫路工学キャンパスに「金属新素材研究センター」を開設予定。

【産業分類別製造品出荷額 (兵庫県、2016年)】



※2,000億円以上の産業のみ抜粋

(資料：県統計課「工業統計」)

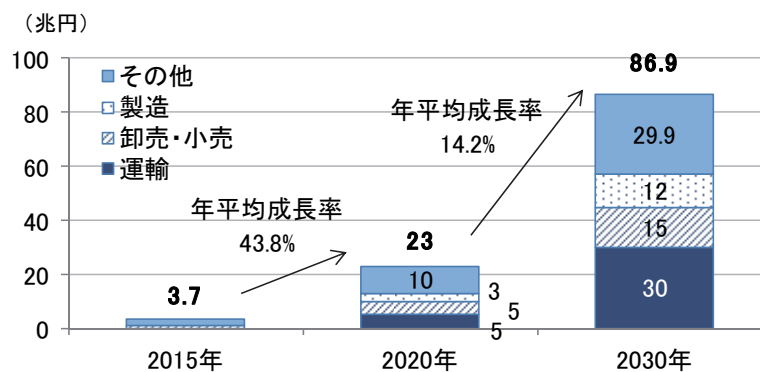
## 6) AI・IoT、ビッグデータ

(自動走行・ドローン、保健・介護、農林水産業、金融、ものづくり等)

### 市場の動向

- ①第4次産業革命の進展により、AI（人工知能）関連の国内市場規模は飛躍的に拡大する見込み。
- ②中小製造業の企業では、IoT技術を活用し、工場間・企業間の生産データ相互活用（「つながる工場」）の実現や、ベテラン従業員のノウハウをデータ化・解析した技術継承や生産性向上など、生産の高度化に向けた取組が行われている。

### 【AIを活用した機器・システム等の国内市場規模】

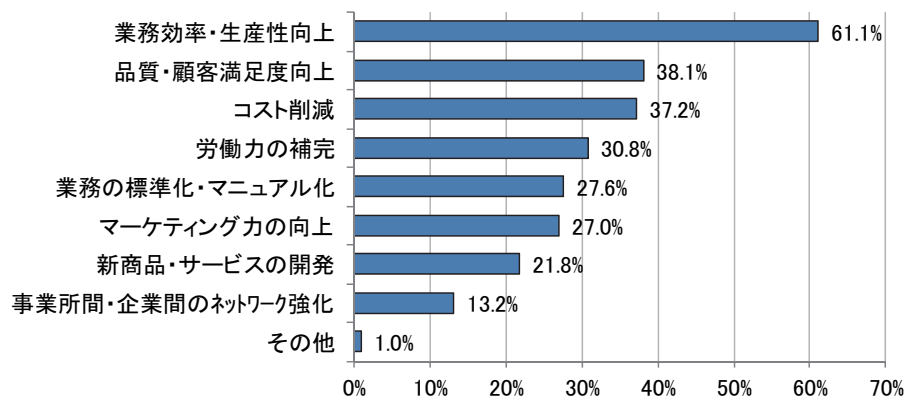


(資料：Cisco, McKinsey, E&Y レポートを基に経済産業省作成(2016.1))

### 県内の強み・現状

- ①県内企業のAI・IoT等の活用状況は、既に活用・活用予定の企業が6%、活用予定のない企業が約70%となっている。活用・活用予定の企業においては、業務効率・生産性向上等の活用効果が期待されている。関連分野への新規参入や製造現場等への導入を促進するためには、企業の状況に応じた体系的な支援が必要。
- ②情報サービス関連企業とバス会社等の連携により、AI技術を活用した公道での自動運転車の実証実験が行われるなどの取組が見られる。

### 【県内企業が期待しているAI・IoT・ビッグデータ活用の効果(2018年)】



(資料：県産業政策課「兵庫県における企業動向等に関するアンケート」(2018))

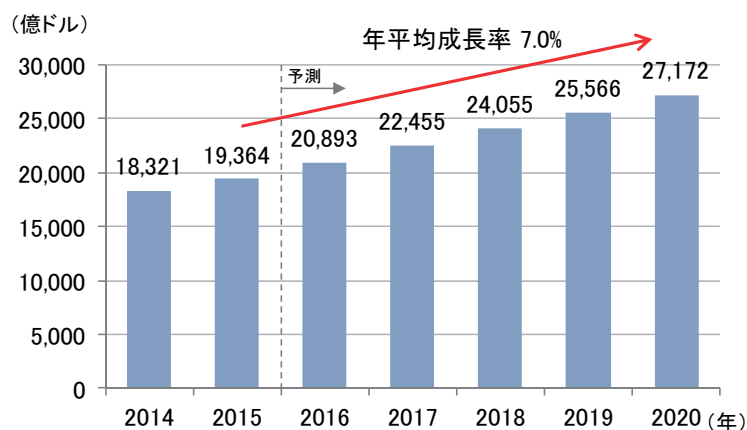
## 7) IT 産業

(ソフトウェア、情報処理・提供サービス、インターネット付随サービス)

### 市場の動向

- ①モバイル端末やIoTデバイス数の増加等を背景に、爆発的に増加するデータトラフィック量を支えるICTインフラや関連サービス等の世界市場は成長を続け、2020年に向けて年平均成長率7.0%で拡大する見込み。
- ②国内のIT産業は東京に一極集中しており、全国売上高の約6割(2016年)・IT人材の全国の半数以上(2017年)を占めている。

【世界の ICT 市場の推移】

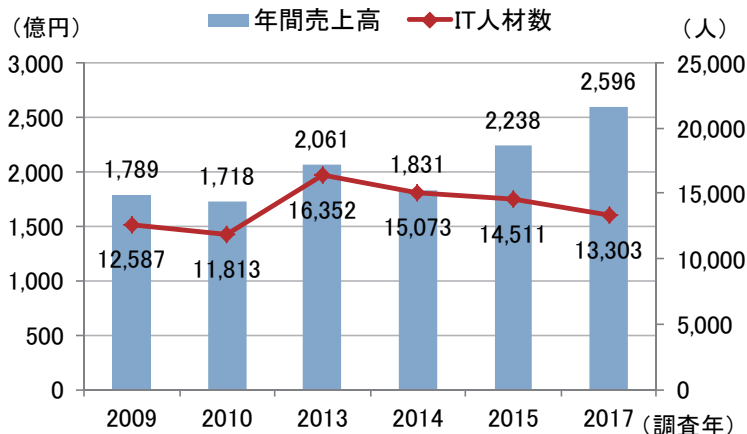


(資料：総務省「平成28年版情報通信白書」)

### 県内の強み・現状

- ①県内IT産業の売上高は、全国第8位の2,596億円(2016年)で、増減しながらも拡大傾向にある。
- ②一方、IT人材数は、約13,000人(2017年)と微減傾向にあり、今後さらに深刻化することが懸念されるIT人材不足への対策が必要。

【IT産業の売上高・従業者数(兵庫県)】



※2013年以降の年間売上高は、調査年の前年の売上高

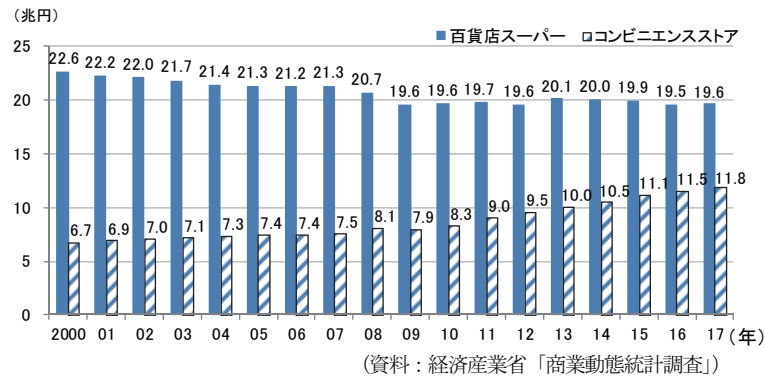
(資料：経済産業省「特定サービス産業実態調査」)

8) 商業・商店街（地域の商店街、買い物弱者対策、まちづくり）

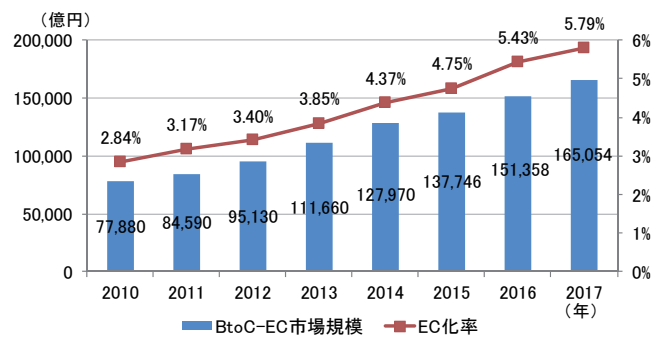
市場の動向

- ①全国の大型小売店販売額は減少傾向が続く一方、コンビニストア販売額は増加の一途。
- ②BtoCのネット通信販売は16兆円規模(2017年)で百貨店スーパーの合計額に迫る勢い。
- ③業態毎の格差が広がる中、商店街は多面的機能の発揮が必要となっている。

【百貨店・スーパー・コンビニストア販売額推移(全国)】



【BtoC-ECの市場規模及びEC化率の推移(全国)】



県内の強み・現状

- ①県内の商店街数は2016年までの20年間で約3割、商店数は約4割減少。店主の高齢化も進展している。
- ②一方、複数のモデル区域で、商店街を中心に、周辺住宅地も含め、商店街の活性化とまちの再整備を総合的に講じる取組が進む。

商店街の活性化とまちの再整備事業モデル商店街  
(2018年4月末現在)

神戸市水道筋地域  
豊岡市宵田・元町地域  
伊丹市サンロード区域  
神戸市東山・ミナイチ区域  
洲本市外町区域  
(区域指定順)



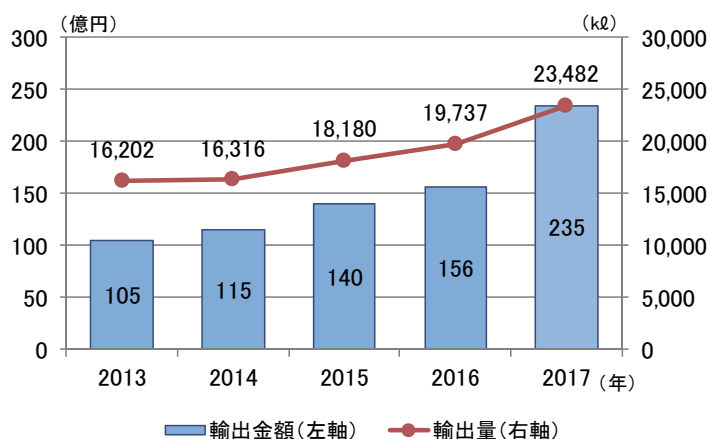
(写真：豊岡市宵田・元町地域  
「道路修景社会実験(歩道拡幅仮設)」風景)

9) 地場産業（清酒、皮革、靴、手延素麺、ケミカルシューズ、播州織、線香、金物等）

市場の動向

- ①郷土の歴史と伝統に培われ、地域社会と密着した地場産業は、稼げる地域資源として重要視されている。
- ②清酒の輸出量は、日本食ブーム、訪日客の増加等を背景に近年増加しており、2017年までの5年間で4割以上伸びている。
- ③また、輸出金額は、2017年までの5年間で2倍以上伸びている。

【清酒の輸出量・輸出金額の推移(全国)】



(資料：財務省「貿易統計」)

県内の強み・現状

- ①県内には、約40の地場産業の集積があるとされている。
- ②生産金額の大きい主要な産地の中で、特に清酒、皮革、手延素麺、釣針、線香、豊岡かばんは全国第1位のシェアを誇り、著名な産地として知られている。

【地場産業の生産額等(兵庫県、2015年)】

地場産業	生産金額(百万円)	企業数	全国順位	全国シェア(%)
清酒	104,344	75	1位	24.0
ケミカルシューズ	29,030	68	2位	15.1
播州織	23,654	182	3位	12.4
皮革	14,332	274	1位	44.5
利器工匠具	20,952	154	4位	12.2
手延素麺	15,494	450	1位	41.7
釣針	11,313	69	1位	79.1
線香	11,401	15	1位	40.2
豊岡かばん	10,581	61	1位	32.8
靴下	7,305	64	3位	6.9
真珠加工	4,076	73	2位	33.0
粘土瓦	3,039	81	3位	9.6

(資料：総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」、各産地組合調査)



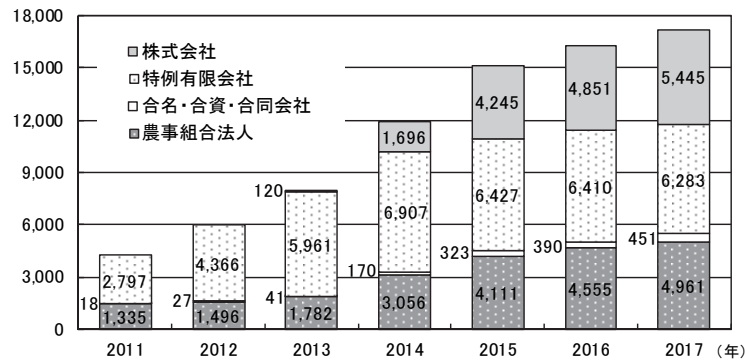
(2) 御食国ひょうごを実現する分野

1) 食・農林水産業(食料品製造業、スイーツ、6次産業化、輸出拡大、ICT活用等)

市場の動向

- ①世界の食市場は、新興国を中心とした富裕層の増加などにより、大幅な増加が見込まれている(2020年の市場規模は2009年時点の2倍となる680兆円の見込み)。
- ②国は、2012年時点4,497億円の農林水産物・食品の輸出額を2019年に1兆円へ拡大する目標を掲げる(2017年8,071億円)。
- ③担い手減少と高齢化等が続く一方、2009年農地法改正(リース方式による参入の全面自由化)以降、農業分野への企業の参入が加速している。

【農地所有適格法人数推移(全国)】



(資料：農林水産省経営局調査(各年1月1日))

県内の強み・現状

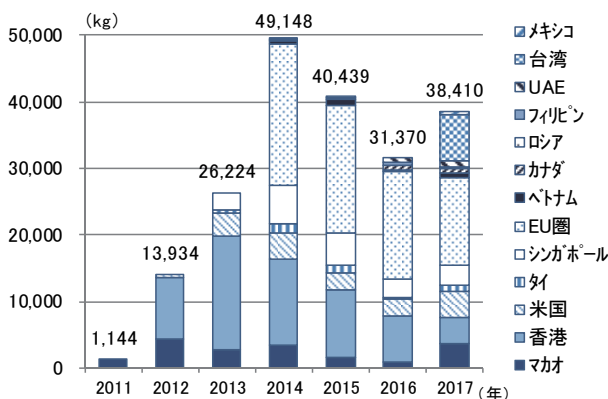
- ①県内農林水産業は山田錦、淡路島たまねぎ、丹波黒大豆、明石鯛等多彩な食材を育む。
- ②県内でも農の担い手の減少と高齢化は進むが、一方で6次産業化への取組、神戸ビーフ等の県内農産品のブランド化や輸出国の拡大(2011年1カ国→2017年21カ国)などの動きが見られる。
- ③本県の食料品製造業の製造品出荷額等は製造業総数と比較し安定的に推移している。

【6次産業化 総合化事業計画認定件数上位都道府県】

	1位	2位	3位	4位	5位	合計
都道府県名	北海道	兵庫県	宮崎県	長野県	熊本県	全国
件数	147	110	104	96	84	2,393

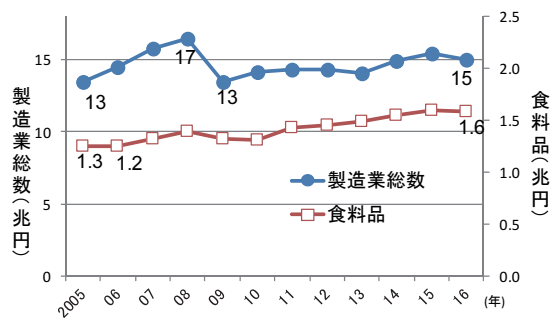
(資料：農林水産省食料産業局資料(2018年11月末)を基に県産業政策課作成)

【神戸ビーフの輸出量・輸出国内訳推移(兵庫県)】



(資料：神戸肉流通推進協議会調査)

【食料品製造業及び製造業製造品 出荷額等推移(兵庫県)】



(資料：県統計課「工業統計」)

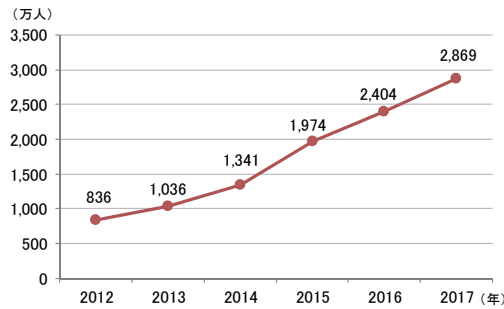
**(3) 交流五国を実現する分野**

**1) 観光（訪日外国人旅行者、隣接県・首都圏宿泊観光客等）**

**市場の動向**

- ①ビザ緩和、免税制度の拡充、航空ネットワークの拡大等により、訪日客数はここ数年で著しく伸びている。
- ②国は、2020年の訪日外国人旅行者数を4,000万人とする目標を掲げている。
- ③約2兆円の経済波及効果を見込む大阪・関西万博が2025年に開催される。

**【訪日客数の推移(全国)】**



(資料：日本政府観光局「訪日外客数」)

**県内の強み・現状**

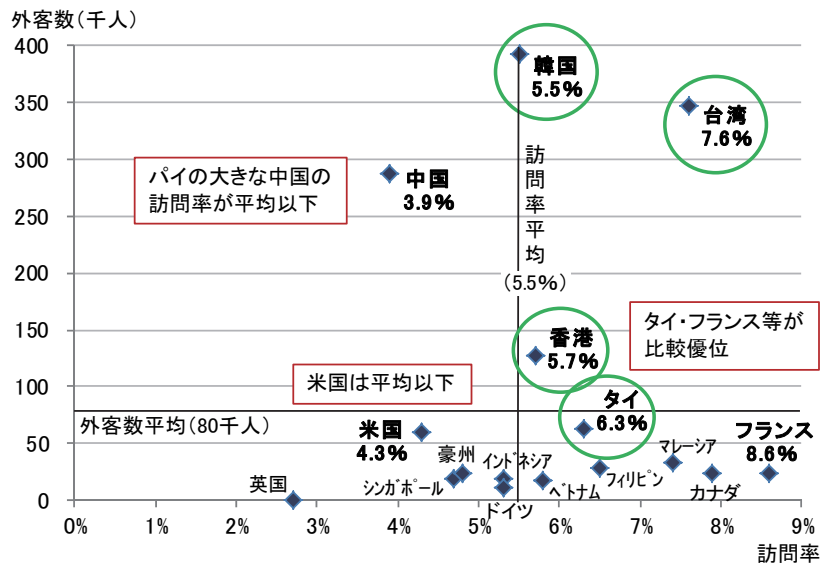
- ①本県は県内からの宿泊者の比率が高く、大阪からを合わせると3割を超えている。
- ②そのため、単価の高い首都圏と併せ、県内及び隣接圏マーケットの掘り起こしが重要となっている。
- ③本県への海外からの訪問率は、人口の多い中国が平均以下となっている。
- ④「ひょうご国際観光デスク」設置の韓国、台湾、香港、タイからの訪問率は平均を上回っている。

**【兵庫県に宿泊する観光客の出発地(2017年)】**

出発地	比率
大阪府	17.9%
兵庫県	15.0%
東京都	10.4%
京都府	5.7%
神奈川県	5.2%
愛知県	4.7%
埼玉県	3.8%
広島県	3.8%
千葉県	3.4%
奈良県	2.6%

(資料：RESAS 地域分析システム  
「居住都道府県別延べ宿泊者数(日本人)の構成割合」)

**【兵庫県への国別外客数と訪問率(2017年)】**



(資料：日本政府観光局「訪日外客数」、観光庁「訪日外客消費動向調査」を基に県産業政策課作成)

## 2) スポーツ(スポーツ用品製造・小売、スポーツ施設、スポーツツーリズム)

### 市場の動向

- ①国内スポーツ産業は、ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック、ワールドマスターズゲームズ2021関西を機に、日本経済をリードする成長産業としての発展が期待される。
- ②国は諸外国並みのGDP対比率水準として2025年に15.2兆円の市場規模を目指す。

### 【我が国スポーツ市場規模の拡大について(試算)】

(兆円)

スポーツ産業の活性化の主な政策		現状 (2012年)	2020年	2025年
(主な政策分野)	(主な増要因)			
		5.5	10.9	15.2
① スタジアム・アリーナ	スタジアムを核とした街づくり	2.1	3.0	3.8
② アマチュアスポーツ	大学スポーツなど	-	0.1	0.3
③ プロスポーツ	興行収益拡大(観戦者数増加など)	0.3	0.7	1.1
④ 周辺産業	スポーツツーリズムなど	1.4	3.7	4.9
⑤ IoT活用	施設、サービスのIT化進展とIoT導入	-	0.5	1.1
⑥ スポーツ用品	スポーツ実施率向上策、健康経営促進など	1.7	2.9	3.9

(資料：スポーツ庁・経済産業省「スポーツ未来開拓会議中間報告(H28.6)」)

### 県内の強み・現状

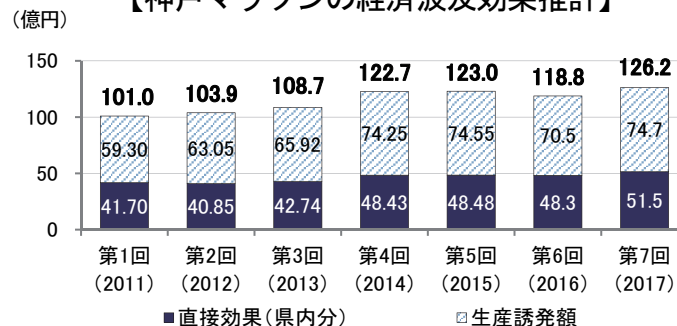
- ①県内のゴルフ場、フィットネスクラブ等(スポーツ施設提供業)の所在数、従業者は全国5位で、業種として一定の集積がある。
- ②神戸マラソンの経済波及効果は近年120億円規模で推移。健康志向の高まりを受け、スポーツ関連産業は成長産業として潜在力を有する。

### 【スポーツ施設提供業の事業所数及び従業者数(民営、2016年)】

事業所数			従業者数		
順位	都道府県	(カ所)	順位	都道府県	(人)
1	東京都	1,106	1	東京都	25,338
2	神奈川県	772	2	神奈川県	18,137
3	愛知県	718	3	千葉県	17,950
4	千葉県	645	4	大阪府	16,089
5	兵庫県	628	5	兵庫県	15,771
6	大阪府	627	6	埼玉県	14,360
7	埼玉県	622	7	愛知県	14,254
8	北海道	616	8	北海道	12,043
9	福岡県	444	9	静岡県	9,108
10	静岡県	436	10	茨城県	9,065

(資料：総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」)

### 【神戸マラソンの経済波及効果推計】



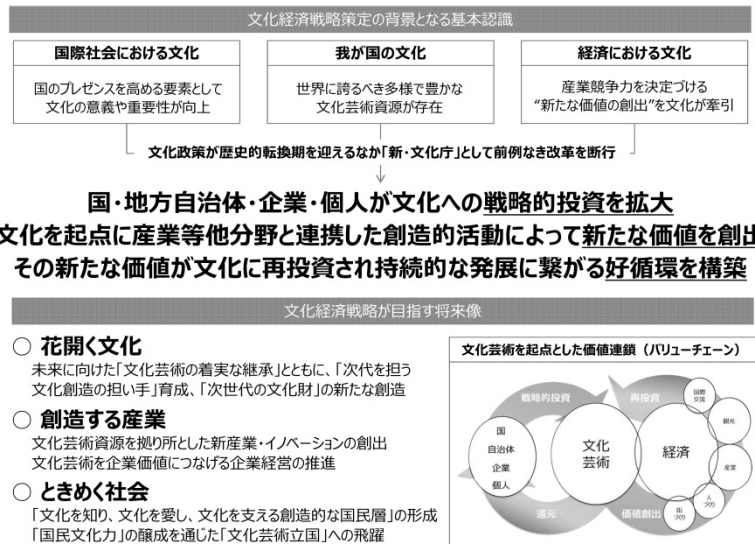
(資料：兵庫県立大政策科学研究所「神戸マラソン社会・経済的影響」等)

### 3) 文化(文化芸術拠点、地域文化資源、コンテンツ活用)

#### 市場の動向

- ①2017年に文化芸術基本法が成立。文化と観光、産業等関連分野施策との連携明記。
- ②同年、国は文化による国家ブランド戦略の構築と文化芸術産業の経済規模(文化GDP)の拡大に向けた取組を推進する「文化経済戦略」を策定した。

#### 【文化経済戦略の全体像】

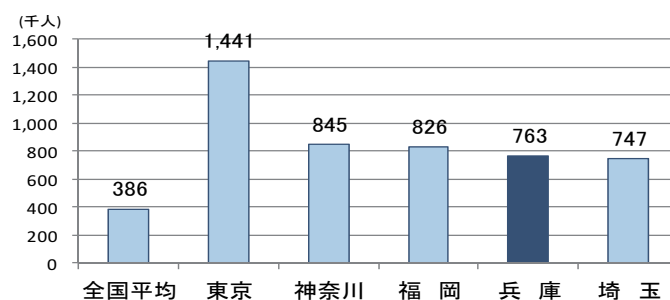


(資料：内閣官房・文化庁「文化経済戦略(2017.12.27)」)

#### 県内の強み・現状

- ①本県は、五国の特色ある文化が相互に影響しながら発展してきた。
- ②淡路人形浄瑠璃等の伝統芸能から、宝塚歌劇や神戸ジャズ等の現代文化まで分厚い文化力を有し、舞台芸術・芸術公演の来館者数は全国4位となっている。
- ③姫路城(姫路市)、浄土寺(小野市)等、県内に所在する国宝(建造物)11件は全国4位となっている。
- ④映画やテレビ等のロケ地、文学やアニメ等の舞台も多く、メディア芸術やポップカルチャーによる更なるブランド向上、誘客促進の可能性が大きい。

#### 【ホールでの舞台芸術・芸術公演入館・参加者数上位5都県】



(資料：文部科学省「社会教育調査報告書」2015(2014年間実績))

4 推進に向けての視点

